

Sun*

内製化支援

貴社のための「循環型」内製化支援のご提案



**MAKE
AWESOME
THINGS
THAT
MATTER**

Our Vision

誰もが価値創造に 夢中になれる世界

Create a world where everyone has the freedom
to make awesome things that matter.

社名に含まれる“Sun”はまさに「太陽」。地球上のすべての生命を育むインフラです。革新的なサービスや、新しいイノベーターの「種」を、私たちの光で照らし、それらを育む最強のインフラになることを目指しています。

Sun*が価値創造をするためのインフラとなることで、全人類が生まれた時から持っているクリエイティブへの情熱を呼び起こし「誰もが価値創造に夢中になれる世界」を実現させます。

Our Mission

本気で課題に挑む人たちと事業を通して社会に ポジティブなアップデートを仕掛けていくこと

Create radical products and businesses with
people who actually care about what they do.

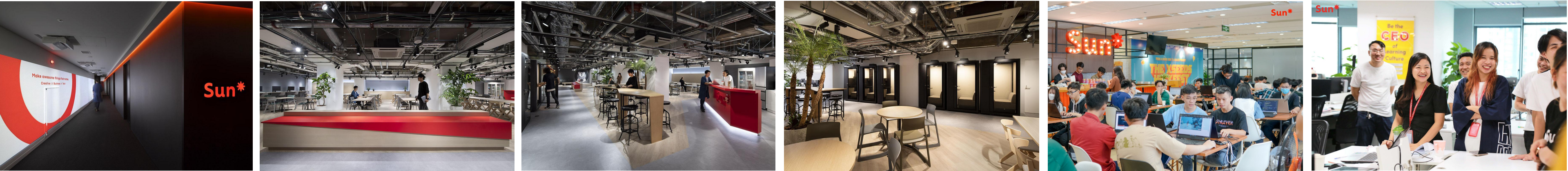
“*(Asterisk)”は、多くのプログラミング言語で掛け算を表す記号です。
スタートアップや大企業の垣根を超え、価値創造に最適なチームを編成し、本気で社会課題に挑むヒト・モノ・コトとのコラボレーションを通じて、様々な産業のデジタルイノベーションを促進することで、社会にポジティブなアップデートを仕掛けていきます。

会社概要

社名	株式会社Sun Asterisk 英語社名 Sun* Inc.
設立日	2013年3月1日
従業員数	約 2,116名 グループ全体
関連会社	Sun Asterisk ： 448 Sun Asterisk Vietnam ： 1,396 Sun Asterisk Software Development ： 48 Sun terras ： 111 NEWh ： 23 Trys ： 90 2024年12月末時点（有期雇用等含む）

本社所在地	東京都千代田区大手町
事業内容	デジタル・クリエイティブスタジオ事業 4ヶ国6都市に拠点※
資本金等	33億9,419万円 資本準備金含む
売上	135.6億円 2024年12月期実績

※日本（東京）ベトナム（ハノイ、ダナン、ホーチミン）＋パートナー拠点 フィリピン（セブ）＋パートナー拠点 カンボジア（プノンペン）



会社概要

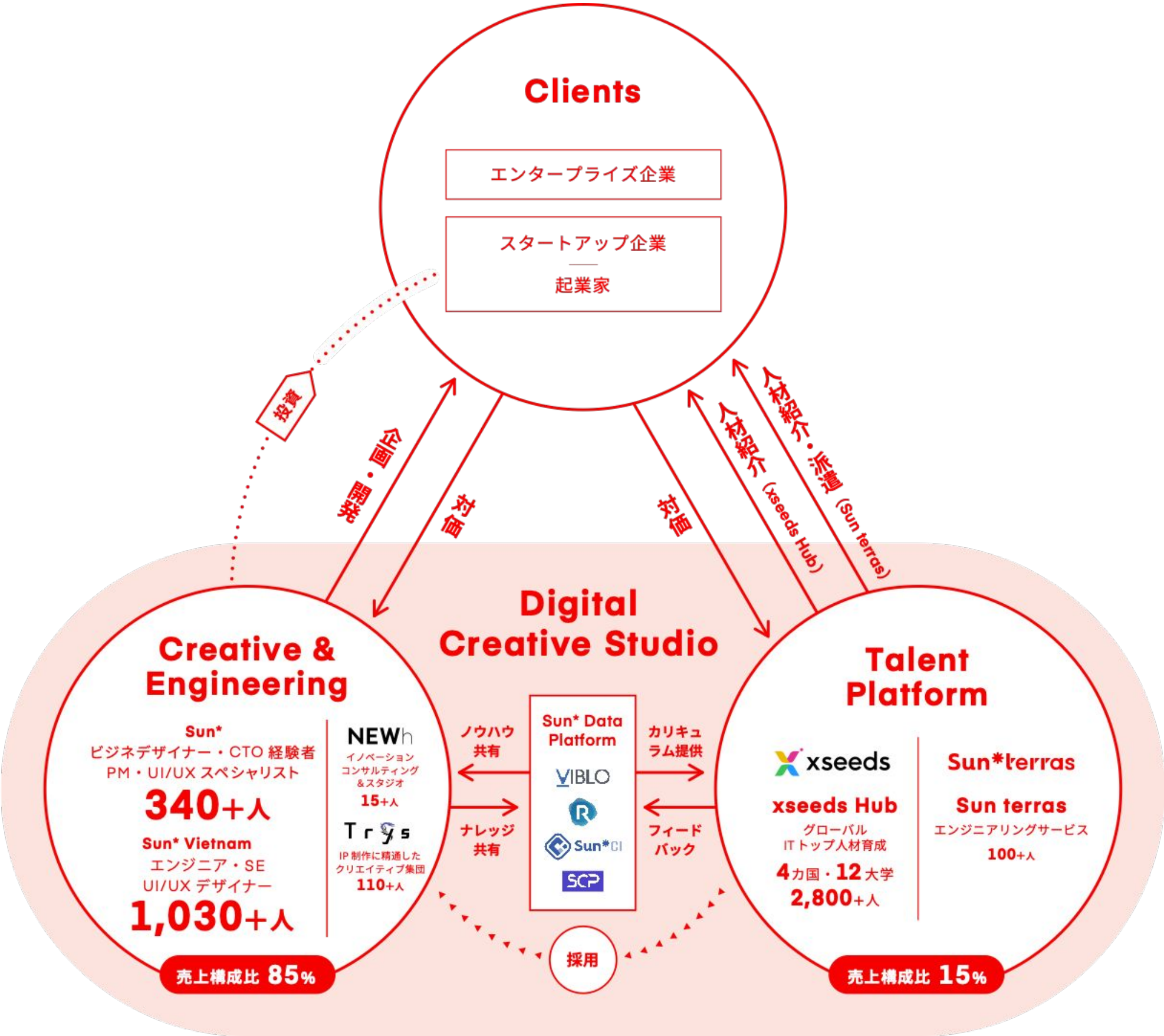
事業創造から
サービスの成長まで
包括的に支援

Creative & Engineering

テック、デザイン、ビジネスの専門チームによる
事業共創の新規事業・プロダクト開発支援

Talent Platform

国内外におけるIT人材の発掘・育成・紹介



デジタル・クリエイティブスタジオの機能

多国籍で多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルが、価値創造プロセスの中で足りない機能を提供し、クライアントとともに事業を共創します。



プロフェッショナル

多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルが多数在籍

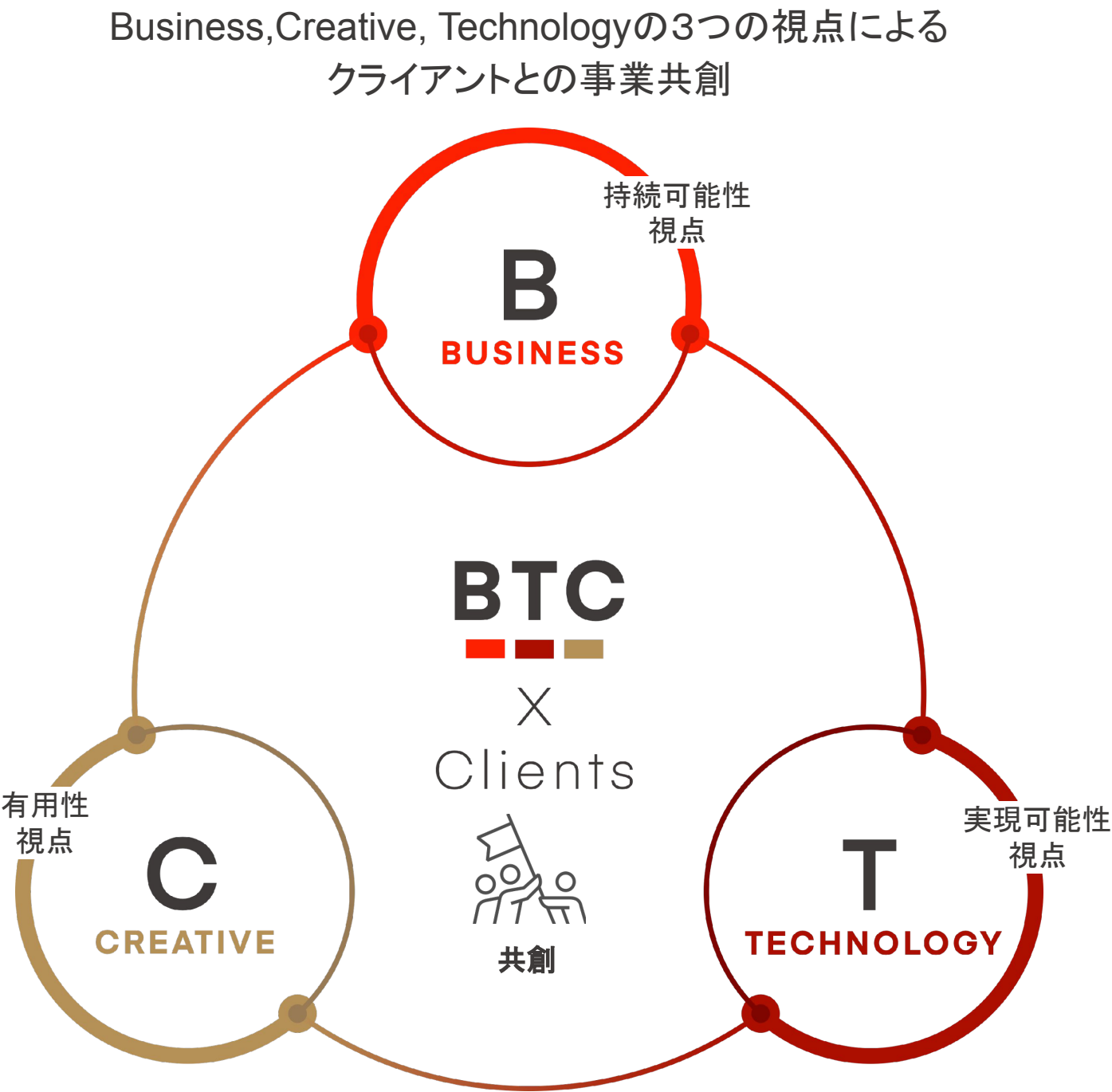
ビジネスコンサルタント	事業開発ディレクター	ビジネスデザイナー
UI/UX デザイナー	UIプランナー	アートディレクター
CTO	プロジェクトマネージャー	フルスタックエンジニア



手法・ノウハウ

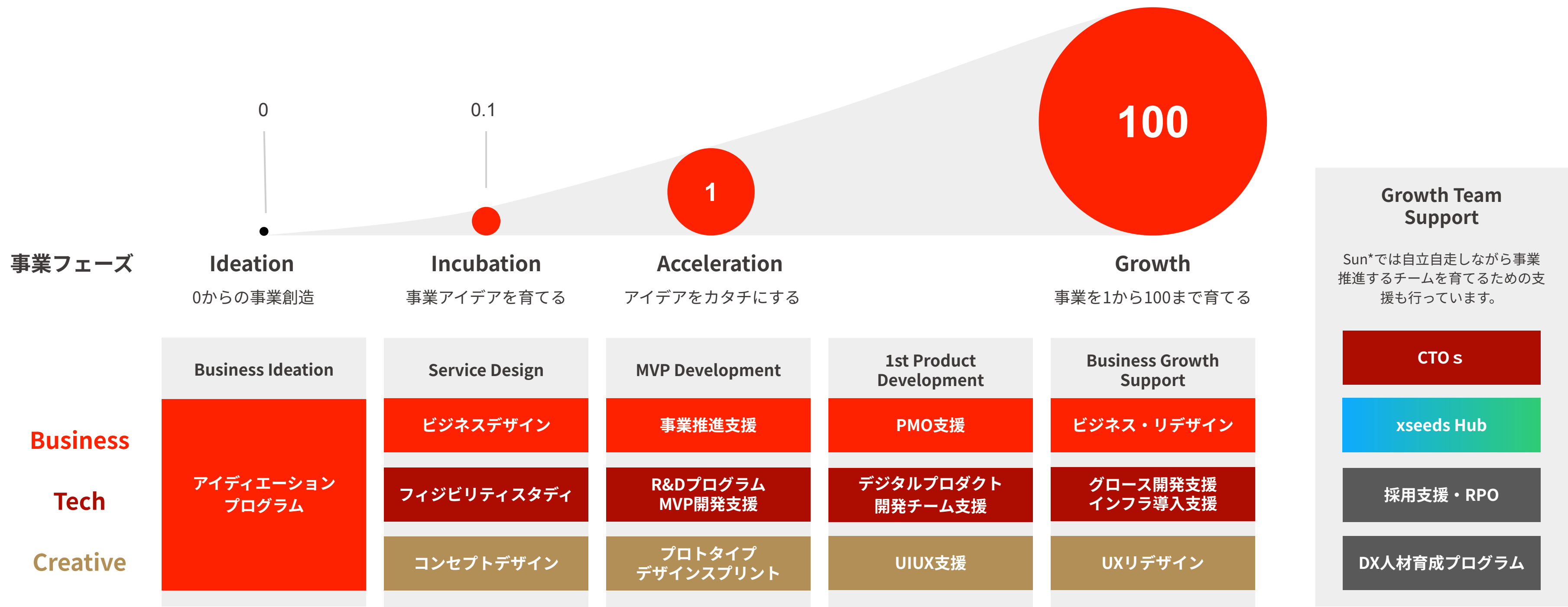
豊富な実績から蓄積された事業創造に必要な手法・ノウハウ

デザイン思考	リーンスタートアップ	ユーザー中心設計
アジャイル	DevOps	CI/CD
AI	Blockchain	NFT



あらゆる事業の、あらゆるフェーズを伴走するチーム

あらゆる事業創造を0から100のフェーズまで伴走しながら支援します。
刻々と変わる事業の状況に対してBusiness, Tech, Creativeのエキスパートで最適なチームを組み、
事業のフェーズにあわせて柔軟な体制で価値創造をサポートします。



これまでの支援実績

エンタープライズの新規事業、DX、システム開発からスタートアップまで
クライアントのニーズに合わせて、事業創出から事業成長までを一貫してサポートします。



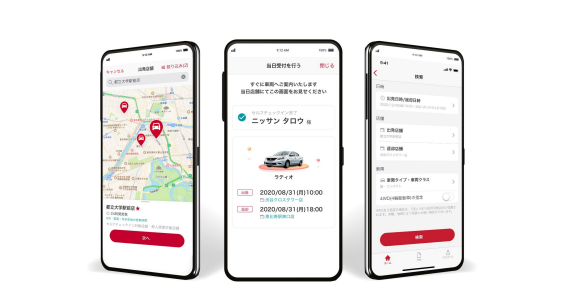
JALマイルライフ
住信SBIネット銀行／日本航空



楽曲管理システム KENDRIX
JASRAC



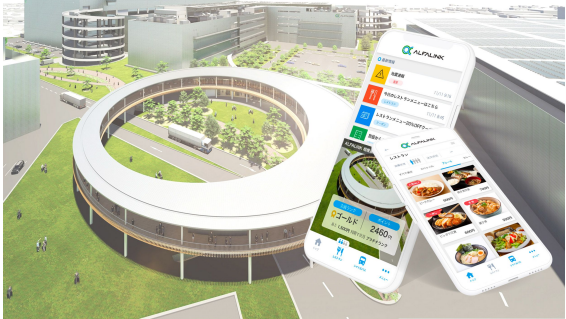
膝栗毛 (HIZAKURIGE)
三菱地所



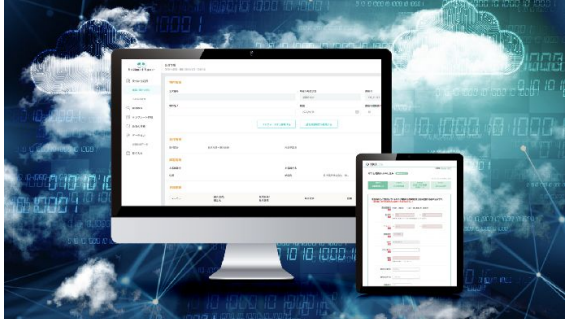
日産レンタカー公式アプリ
日産カーレンタルソリューション



WMS・TMSを機能補完するシステム
ダイキン工業



GLP ALFALINK 公式アプリ
日本GLP／モノフル



「雲の宇宙船」に関連した基幹システム
日本瓦斯（ニチガス）



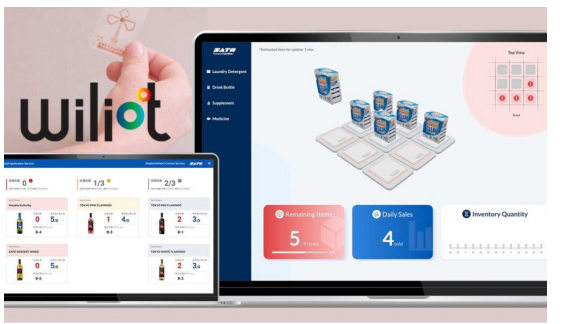
elgana（エルガナ）
NTTビジネスソリューションズ



sumgoo（スムグー）
パナソニック



All Right／T&D保険グループ
ピアコネ



IoTクラウドシステム
サトー



北欧、暮らしの道具店
クラシコム

クライアント数

550+



物流



小売



飲食



金融



医療



教育



不動産



エンタメ



広告



ファッション



生活



セキュリティ

プロダクト数

1000+



WEB



スマートフォン



IoT



AI



CLOUD



BLOCK
CHAIN



Web3

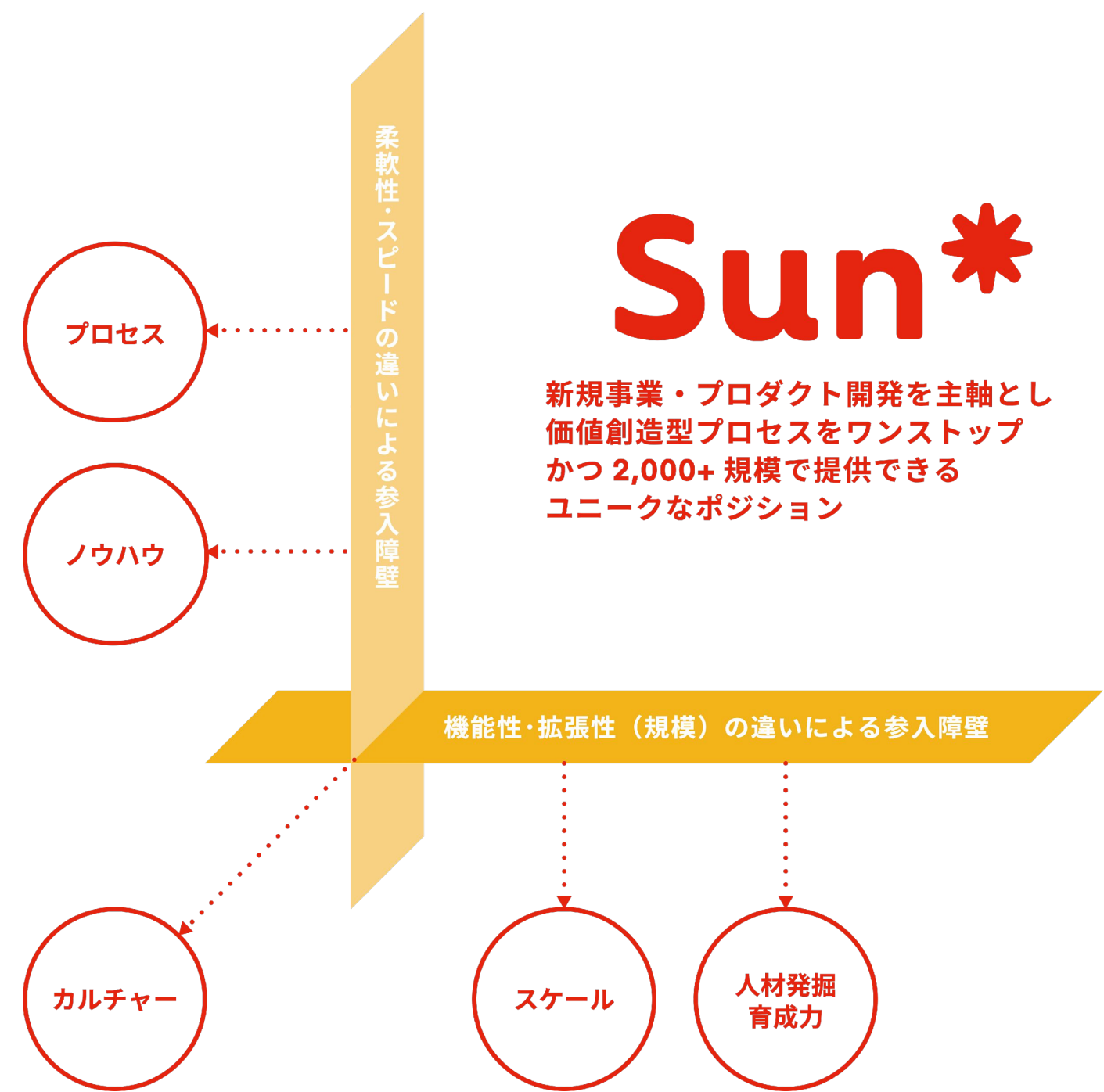
Sun*が提唱するDXの2つの要素

Sun*グループ全体で、課題解決型のDXから価値創造型DXまで幅広く対応できることが特徴です。

分類	デジタイゼーション	デジタライゼーション
目的	業務プロセスのデジタル化 コストの最適化 基幹システム刷新などによる業務の効率化	事業のデジタル化 レベニューの成長 デジタル企業へのアップデート
求められる事	安定と品質	柔軟性とスピード
手法	課題解決型 課題抽出、業務フロー整理、要件定義 システム設計、ウォーターフォール開発 システム導入と保守運用、効果測定と改善	価値創造型 デザインシンキング等によるアイデア創出 リーン・スタートアップ、MVP開発 アジャイル開発、高速DevOps体制と運用

Sun*のユニークネス・強み

新規事業・プロダクト開発をワンストップで提供できるユニークなポジションを築いています。



プロセス・ノウハウ

デザインシンキング、リーンスタートアップ、アジャイルアプローチの開発で 繰り返し洗練して来た価値創造のプロセスと、
新規事業・プロダクトを主軸に400超の開発で得たノウハウを蓄積した、 データプラットフォームによる再現性

カルチャー

本気で社会課題に挑むヒト・モノ・コトとのコラボレーションを加速させ、「価 値創造に夢中になれる」オープンで強固なカルチャー

スケーラビリティ

1,500名超のB・T・Cのプロフェッショナルが所属
価値創造型のプロセス・ノウハウを活用し、教育機関と連携した育成のエ コシステム構築による才能の発掘と育成力

内製化の理想とギャップ

"内製化"を、持続的な事業成長エンジンとして取り入れる

近年、ビジネス環境の変化スピードが加速しており、企業には**迅速にサービスやプロダクトを開発・改善できる体制が求められています**。
その選択肢の一つが「内製化」です。

内製化によるメリット



ナレッジの蓄積

社内にナレッジが蓄積され、再発明を防ぐとともに、新規事業の創出につなげることができる



デジタル技術の活用

デジタル技術を活かした事業が推進することで、ビジネスイノベーションの機会を創出



競合他社との差別化

競合他社との差別化を図ることができる



人材の育成

優秀な人材を確保・育成ができる

迅速なサービス改善ができないことで起こる課題

サービスやプロダクトの開発・改善の対応スピードが遅くなることで、さまざま経営課題に直結しますが、その**原因の一つに、『開発や改善を外部ベンダーに依存している』ケース**が見受けられます。

事業・サービス開発のスピード低下



ベンダーに依頼してからの調整や契約で時間がかかり、市場の変化にタイムリーに追従できずビジネスチャンスを逃す。

DXや新規事業の推進が滞る



デジタル技術を活かしたビジネスモデルへの転換が進まないため、市場での存在感が弱まる。また、新しい技術やトレンドを取り入れるのに時間がかかり、ビジネスイノベーションが進まない。

競合他社との格差拡大



競合が内製化を進め、開発速度や技術力で先行している場合、自社の競争力が相対的に低下する。

優秀な人材の確保・育成が難しくなる



内製化が進んでいない企業は、エンジニアやクリエイティブ人材にとって魅力が薄く、採用・定着が進まない。社内にいる貴重な技術人材も、やりがい得不到られないとして離職につながるリスクがある。

コスト増加と投資対効果の低下



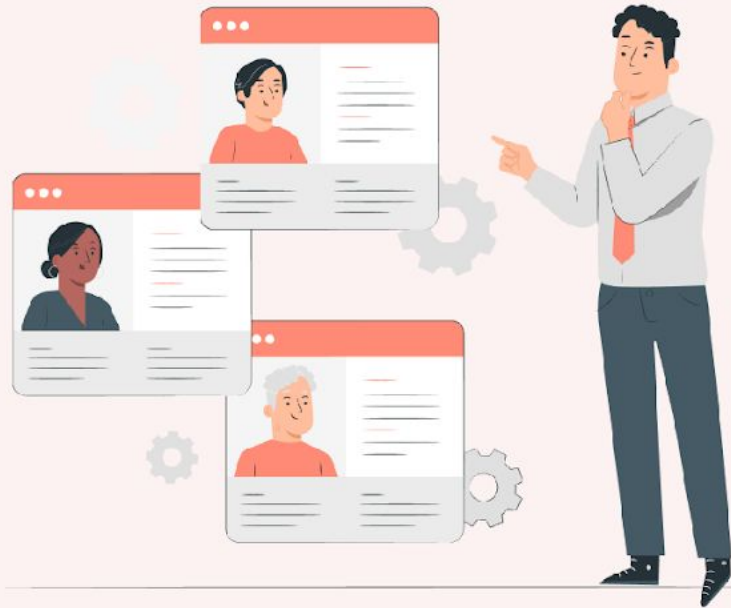
社内にナレッジがたまらず、同じようなプロジェクトが発生するたびに外注コストがかさむ。一方で成果物に対する知見や権利を自社で十分に活用できず、投資効果が見合わない。

内製化が進まない「3つの壁」

これまでの背景を踏まえ、数々の企業が内製化の重要性を認識し、多額の投資をおこなっていますが、成果を出せずにいます。その背景には、企業の構造的な課題が存在します。

1. エンジニア不足の壁

- 国内エンジニア人材の採用の困難さ
- プロジェクト推進までできるエンジニアさらに市場にいない



1. 開発文化の壁

- 根強いウォーターフォール文化
- 形骸化するスクラム
- DevOpsに必要な横断的な協力体制が築きにくい



1. 経営と開発の壁

- ビジネス戦略を深く理解し、それを最適な技術で実現に導く「翻訳者」が不足
- 企画部門の意図とずれた「作っても使われない」システムの開発



1. エンジニア不足の壁

内製化を進めるには、各領域のスキルセットを持ったエンジニアのチームをつくる必要があります。しかしエンジニア需要に対し、供給が追い付いていないのが現状です。

上がり続ける採用難易度

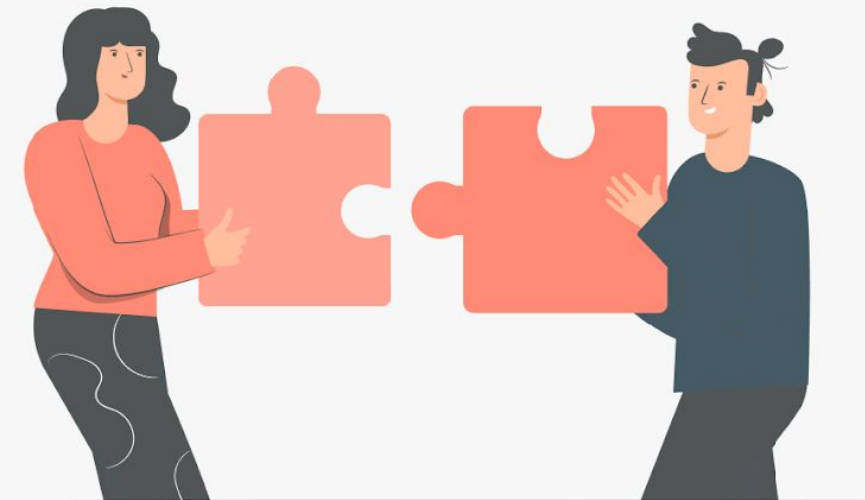


国内でエンジニア採用を試みても、激しい人材獲得競争の中で、必要なリソース確保が難しい状況があります。

🔗 [2025年6月時点で、エンジニアの新規有効求人倍率は3.8倍を記録](#)

出典：type「ITエンジニアの有効求人倍率は？2025年8月の最新動向と採用のコツを解説」

外部パートナーと協業する難しさ



Slerやオフショア開発など、外部パートナーとの協業を検討するが、社内チームの一つとして動かすことにハードルを感じてしまうケースがあります。

🔗 [オフショア開発ではコミュニケーションや品質管理に課題を感じる](#)

出典：オフショア開発白書2024年版

開発文化の壁

マーケットやユーザーニーズの変化に対応できる開発体制に移行したくとも、長年続いてきた開発スタイルが影響し、アジャイル開発など柔軟な開発プロセスへの移行を難しくしています。

根強いウォーターフォール文化



開発工程をしっかりと計画し順序立てて進行するウォーターフォール型の開発プロセス・開発思想が、短いサイクルで企画～開発・テストを繰り返すアジャイルな開発手法の導入を妨げています。

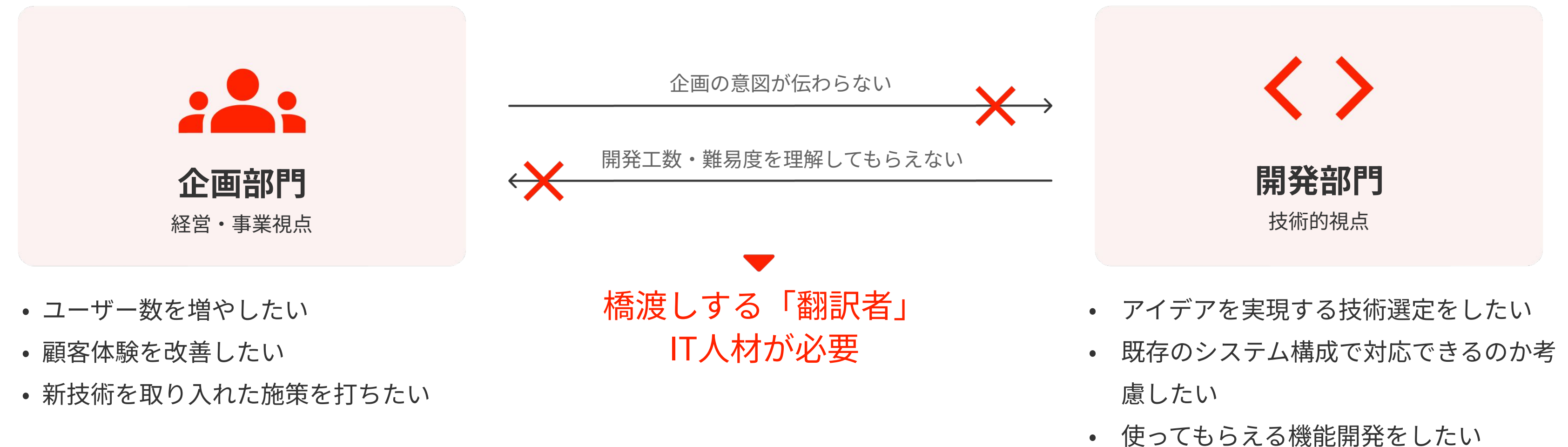
組織間の連携希薄や情報の孤立



内製化には関連する部門を横断した開発と運用・保守（=DevOps）の仕組み化が鍵となります。しかし組織の縦割りにより情報が分断されてしまい、部門間の情報連携がうまくいかないことが障壁となっています。

3. 企画と開発の壁

ビジネス戦略を深く理解し、それを最適な技術で実現に導く「**翻訳者**」を担う**IT人材**が内製化の鍵になります。しかし、そうした人材の不在により、企画部門の意図とずれた「作っても使われない」システムが生まれ、多額の投資が無駄になるケースが後を絶ちません。



Sun*が提供する内製化支援サービス

内製化の壁を乗り越える、Sun*が提供する内製化支援サービス

3つの壁

1. エンジニア不足の壁

1. 開発文化の壁

1. 企画と開発の壁



Sun*が
提供する
内製化支援
サービス

1. エンジニア人材の確保

海外の優秀なエンジニア人材の採用
・育成・スポットで開発支援

- xseeds Hub
- 柔軟な開発体制の提案(ラボ開発)

2. 開発体制・文化構築

創業当時から蓄積・アップデートし
続けるSun*の開発ノウハウをイン
プット

- DevOps推進支援
- アジャイル開発のインストール

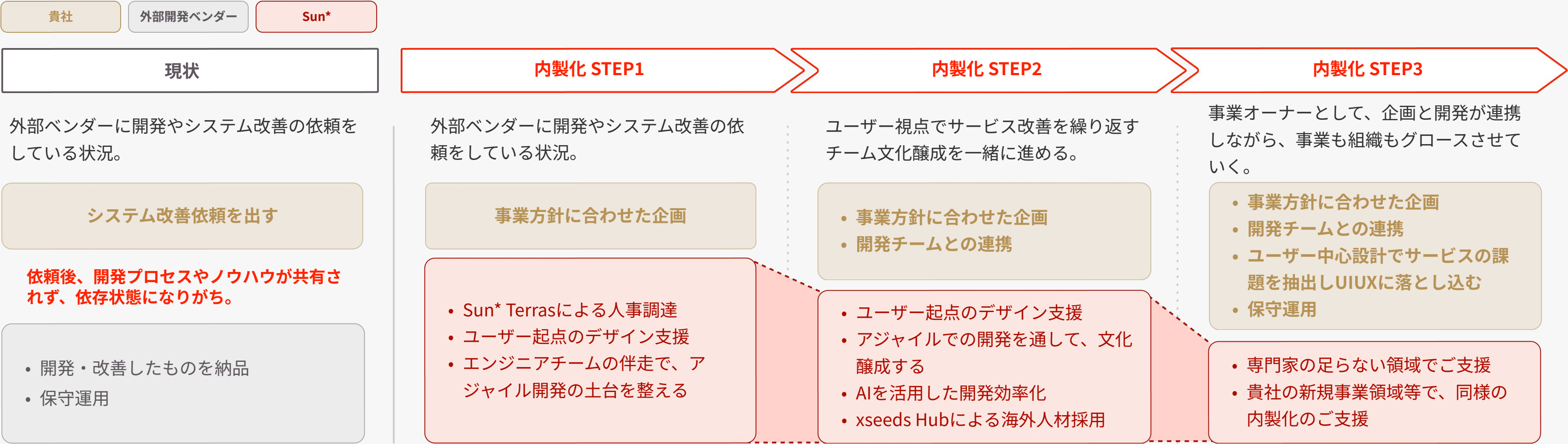
3. デザイン人材による支援

サービスデザイン人材による
共通言語化と具体化支援

- ビジネスデザイナーやデザイナー人材
がご支援

Sun*が伴走することで実現する、内製化への道のり

はじめは内製化に必要なリソース調達、組織文化、チームづくりにおいて、不足している領域をSun*がご支援。徐々に自社でつくり続け、学び続けられる循環が生まれることを目指します。



貴社内の体制が整い運用が回り始めることで実現すること

- ①外部ベンダーに費やしていた委託費用 / コミュニケーションコスト等が削減社 ②内文化が醸成され、人材が育成される ③ノウハウが社内に蓄積される

世界中のトップタレントを、 貴社の開発エンジンに

「xseeds Hub（エクシーズハブ）」とは海外トップ大学の優秀層が集まるエンジニア採用プラットフォームです。

情報工学を専攻する2,000名以上の学生がSun*固有のデータベースに登録しています。

貴社の文化にフィットする人材を厳選し、長期的な戦力として採用・育成します。



xseeds Hubを活用するメリット

① トップ大学からの優秀な人材を厳選採用



ハノイ工科大学
 • 2006年より開始
 • 4学生 1,190名が在籍



ダナン工科大学
 • 2016年より開始
 • 4学生 250名が在籍



ベトナム国家大学
 ハノイ校 技術工学大学
 • 2017年より開始
 • 4学生 110名が在籍



ベトナム国家大学
 ホーチミン校 情報通信大学
 • 2019年より開始
 • 4学生 360名が在籍



ベトナム国家大学
 自然科学大学
 • 2020年より開始
 • 1学生 20名が在籍



フェニカ国家大学
 • 2020年より開始
 • 3学生 170名が在籍

② 貴社文化に合わせた育成・オンボーディングが可能

③ 短期的リソース確保から、長期的人材基盤構築へシフト

国内と比較した採用競争

国内の代表的採用チャンネルの採用期待値

採用競合が多い
レッドオーシャン
 平均 **2.8**人 / 社

MARCH以上の学生を狙う場合
 企業3万社
 MARCH以上の就活生8.6万人の採用戦争

xseeds Hubの採用期待値

採用競合が少ない
ブルーオーシャン
 平均 **21.3**人 / 社

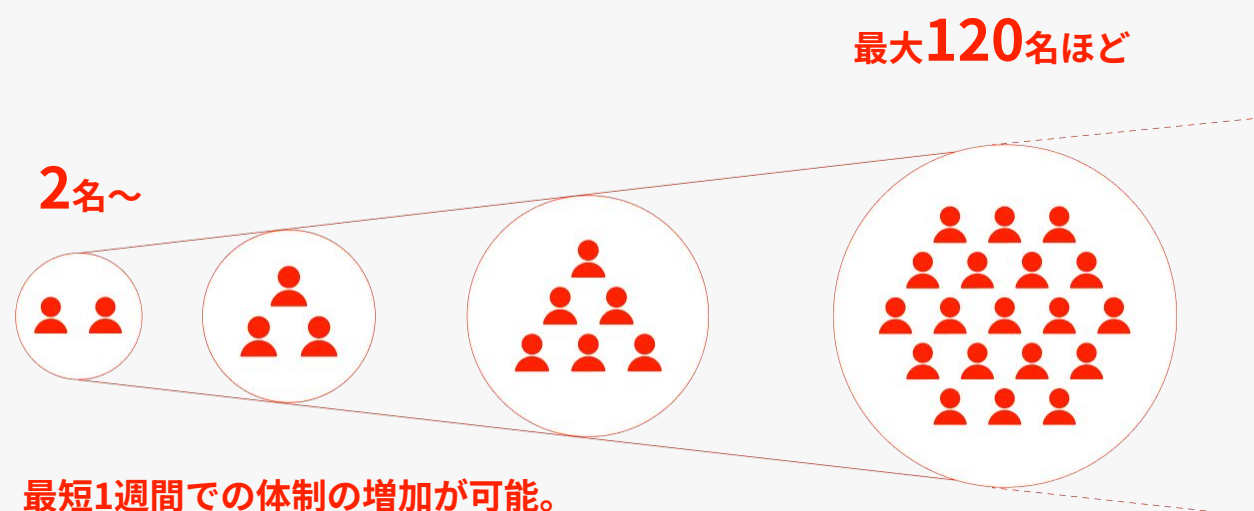
海外トップ大卒の情報系学生を狙う場合
 企業60社
 就活生1,280人の採用戦争

7.6 倍

サービスの詳細は紹介資料をご覧くださいURL:

事業フェーズや チーム状況に合わせた、 柔軟な開発体制の構築

国内外合わせて1,200名以上の開発人材が在籍しているため、事業
・チームの状況に合わせた体制の拡大・縮小を柔軟に提供できます。
また、貴社のチーム状況に合わせて開発ラインをカスタマイズすることも可能です。



縮小の場合も2ヶ月前までにご連絡いただければ対応可能。

貴社のチーム状況に合わせて開発ラインをカスタマイズ

Sun* dev members into client team

貴社の開発チームの中にSun*開発メンバーを追加

ニーズ

- 特定の職能が足りていない
- 新機能をスピード感を持って、ワンチームで開発したい

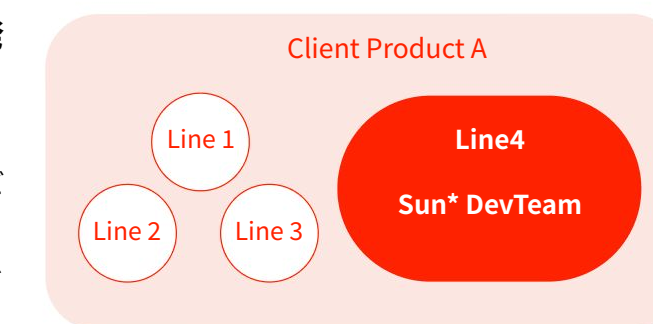


Sun* dev team(project team) into client product team

貴社の開発プロジェクトの中にSun*の開発チームを追加

ニーズ

- 継続的にリソースを確保し、その時々で必要なサービス・機能を反映させていきたい
- 開発と運用でラインを分け、プロダクトのグロースを加速させたい

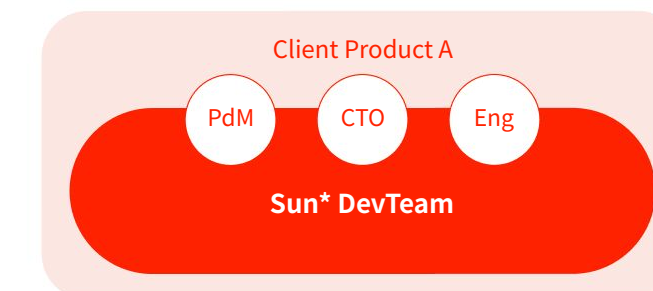


Client PdM with Sun* Dev Team

貴社のプロジェクト推進者が主体となり、Sun*の開発チームを牽引してプロジェクトを遂行

ニーズ

- 開発人員が足りない
- 開発方針の変更など、柔軟に対応できるチームを作りたい



経営方針と連動した開発支援で 内製化を加速

Sun*にはCTO経験者など日本のトップレベルのエンジニアプロフェッショナルが在籍しています。事業フェーズに最適な組織のあり方、モダナイゼーション戦略・実行、開発プロセスの見直しなど、高い視座、技術、品質力で内製化を実現します。



Sun*の強み

スタートアップのCTO、事業開発経験者が数多く存在

Sun*には「CTOs」と呼ばれるスタートアップでCTOを歴任してきたメンバーが複数人在籍。また、スタートアップの事業開発責任者もいるため、経営とプロダクト開発を紐付けながら、クライアントの事業づくりに伴走しています。



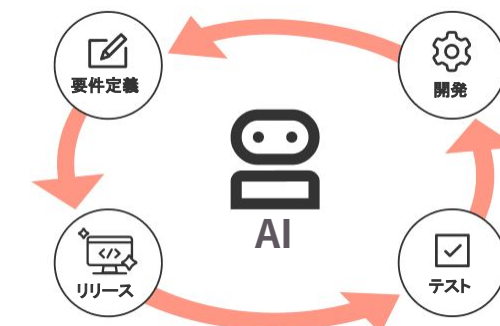
開発(Dev)と保守運用(Ops)の両軸の開発体制を整え推進

CI/CDパイプラインの構築、クラウドネイティブなアーキテクチャ設計など、DevOpsの環境と仕組みを提供し、文化の定着を強力に推進します。



AI駆動開発による開発効率化とプロダクト品質の向上

AIの活用で自動化・最適化による効率化と、データ駆動の品質改善により、事業成長に直結する開発プロセスの実現、チームの生産性とプロダクト品質を同時に加速させます。



機能単位の開発を繰り返す アジャイルの思想を取り入れた 開発スタイル

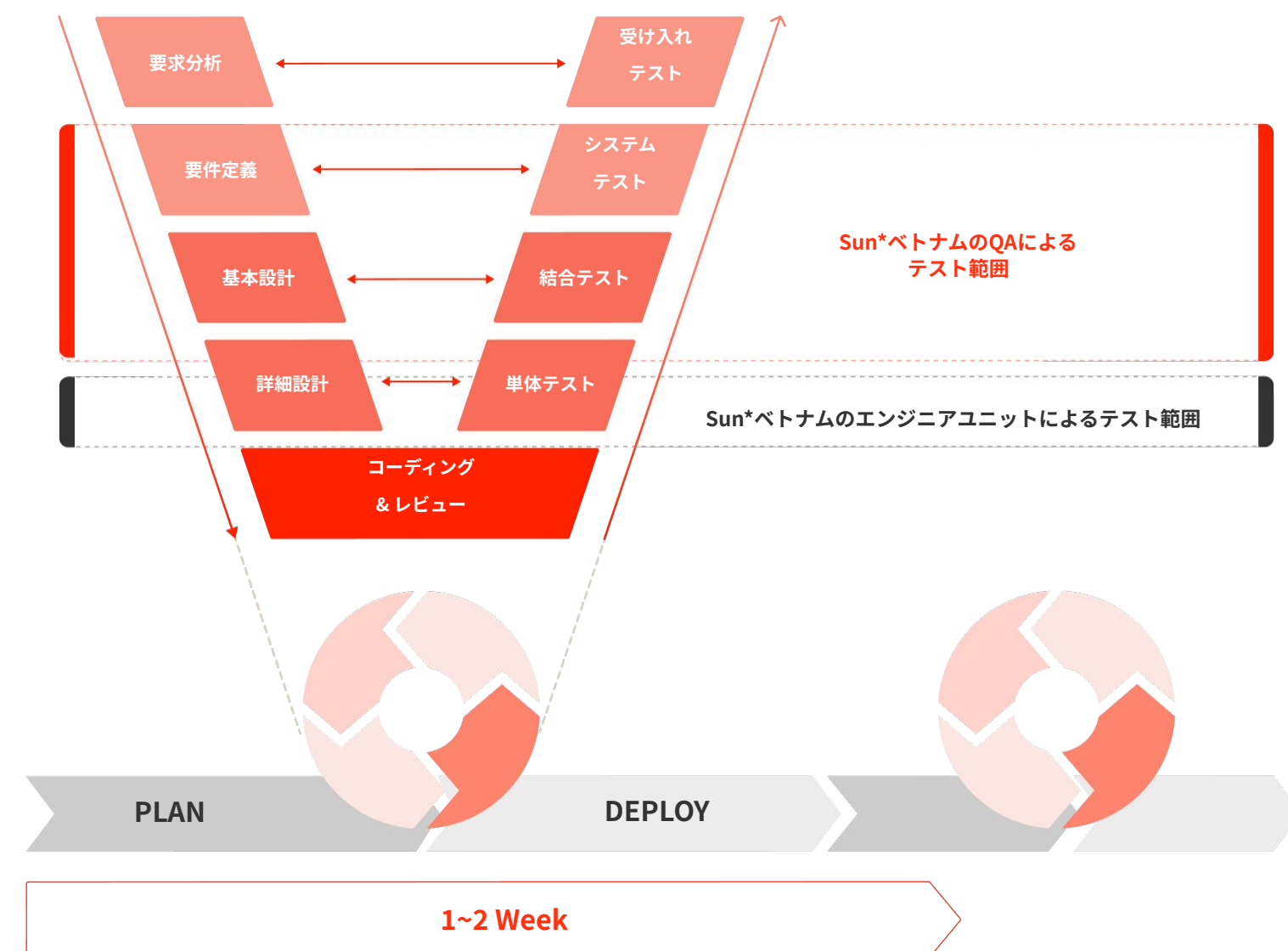
Sun*の経験豊富なベトナム開発チームが、貴社チームと一体となってアジャイル開発を実践します。日々のスクラムを通じて、形式的ではない「本物のアジャイル」を体得。失敗から学び、高速で改善する文化を現場から醸成します。



Sun*の開発スタイル

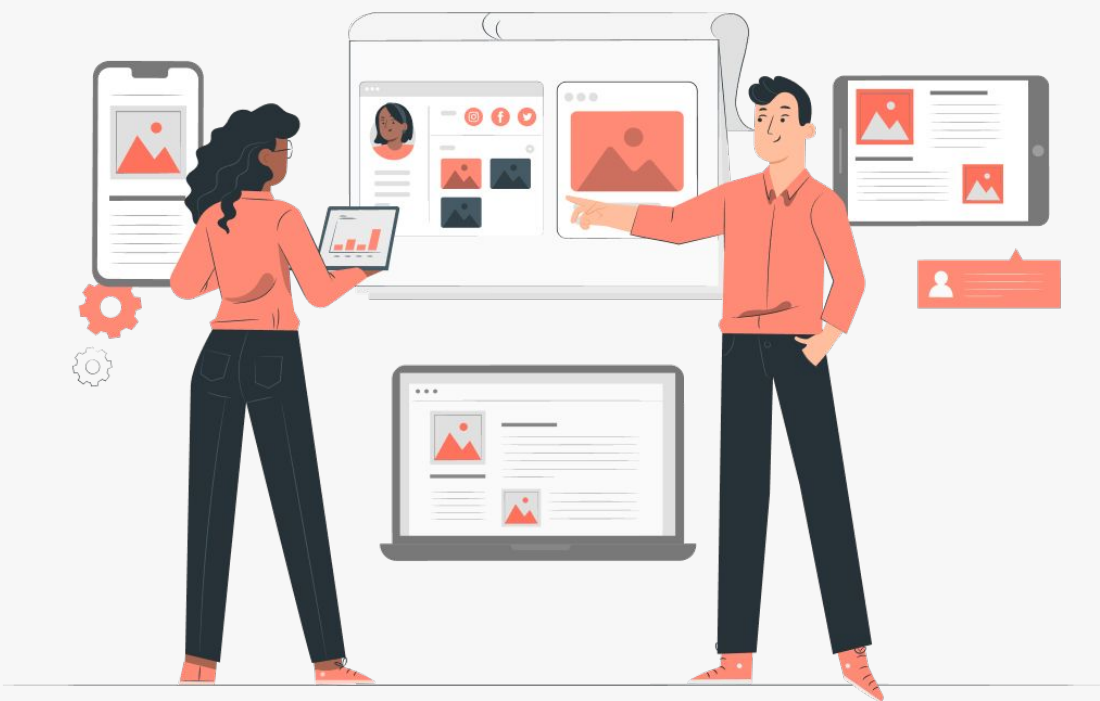
ソフトウェアの開発スキル(Dev)と システム運用経験(Ops)の両方を持ち合わせた仕組み

アジャイルでありながら、1つの開発サイクルでは、開発工程とテスト工程で各作業をリンクさせ、検証作業を効率よく実施するV字モデルを採用しています。それにより、柔軟性・効率性を求めながらも確実な品質担保を可能にしているのがSun*の特徴です。



サービスデザイン人材による 共通言語の創出

サービスデザイン支援を通じて、独自フレームワークVDS（Value Design Syntax）を活用したビジネスモデル構築からサービスコンセプト開発、ユーザーインタビューやプロトタイピングなどのUIUXデザイン構築支援を貴社チームと一体となって実践。
将来的には貴社自身で、顧客価値起点のプロダクト開発を推進できる体制の構築を目指します。

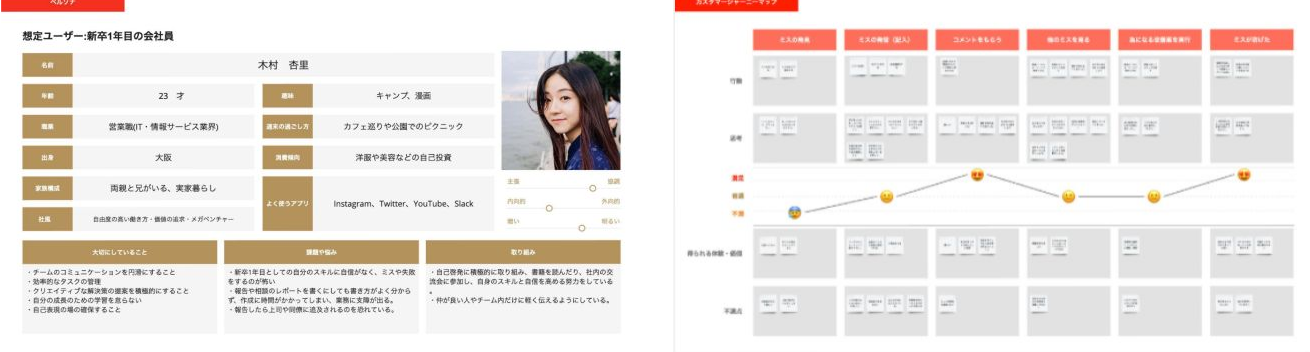


■ 主なサービスデザイン支援

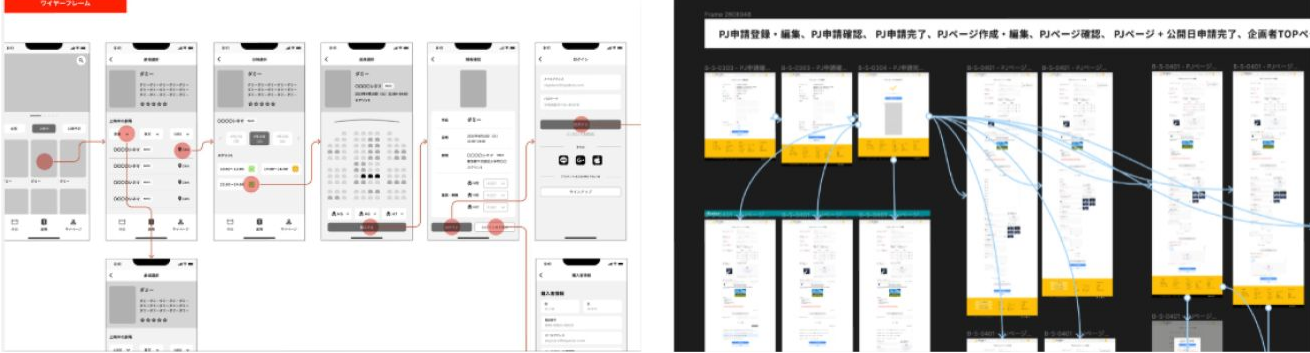
● VDS（Value Design Syntax）を活用したビジネスモデル構築



● サービスコンセプト開発



● プロトタイピング、UIUXデザイン



真に、事業・ユーザーにとって価値のあるサービス開発へ繋げていく。

Thank you!